

科目名称：	生活デザイン	
担当者名：	後藤 真実子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
真に快適で心豊かな生活のために必要なデザインとは。フードビジネスを考える中で、その歴史と今を考察します。また、恵まれた伝統工芸文化を持つ石川県にあって、どのように現代のデザインにいかにか活かすことができるのかを考えます。		
授業の達成目標・到達目標		
照明・家具・ウインドウトリートメントから設備機器まで多岐にわたる空間を構成する内装材の特性を学び、伝統工芸や季節の室礼など文化を掘り下げ、空間デザインのための基礎知識を習得します。その基礎知識を基に各々空間（カフェ等）をデザインし、提案ボードの作成します。また、プレゼンを通じてそのコンセプトを発表する技術を身に付けることを目標とします。		

ビジネス実務学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP (2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP (3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。		○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP (1)					0
ビジネスDP (2)					0
ビジネスDP (3)		50	50		100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》インテリアコーディネーター（キッチンスペシャリスト）	《経験年数1》 23年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
提案ボードの作成	必要項目をすべて網羅し、独創的な視点もあり説得力のあるボードである	必要項目をすべて網羅し、自分の意思を伝えることのできるボードである	必要項目をほぼ網羅し、自分の意思を伝えることのできるボードである	必要項目をほぼ網羅しているがコンセプトと整合性のないボードである
プレゼンテーション	聞き取りやすく説得力があり、内容に引き込まれる説明ができる	聞き取りやすく説得力があり、自分の意図が説明できている	聞き取りやすく説得力のある説明ができる	聞き取りにくく説得力のある説明ができていない

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回	オリエンテーション 提出課題Aの説明：コンセプトボードの作成について	課題のためのイメージを膨らませ資料を集める	40分
第2回	住まいの変遷とキッチンスタイル 演習：自分が使っているキッチンの構成を知る	自分が使っているキッチンの下調べをしておくこと。写真に撮って持ってきて良い	60分
第3回	キッチンの設備と人間工学 小テスト①キッチン	キッチンの設備について下調べする	60分
第4回	インテリアを構成する要素を知る 演習：インテリアスタイル	課題のアイディアをまとめる	60分
第5回	照明の基礎知識	照明器具の種類と特徴をまとめる	60分
第6回	様々な照明手法とデザイン 小テスト②照明	課題のための照明器具をリサーチしてセレクトする	60分
第7回	色彩の基礎知識 演習：提出課題Aについて	課題のイメージに合ったカラーコーディネートをとめる	120分
第8回	色彩とインテリアスタイル 小テスト③色彩 課題A提出	課題のためにイメージに合ったインテリアスタイルを調べまとめる	60分
第9回	課題A：コンセプトボードのプレゼン発表 提出課題Bの説明：マテリアルボードの作成について	コンセプトボードのプレゼンに必要な資料の作成・発表準備をしておく	60分
第10回	内装材の基礎知識	課題のためにイメージに合った内装材を調べセレクトする	120分
第11回	ウインドウトリートメント 演習：内装材とカーテン	課題のためにイメージに合ったウインドウトリートメントを調べセレクトする	60分
第12回	世界の名作チェア 小テスト④内装材・ウインドウトリートメント・家具	世界の名作チェアについて調べレポートにまとめる	90分
第13回	石川の伝統工芸 演習：提出課題Bについて	石川の代表的な伝統工芸について調べる	90分
第14回	季節と室礼 小テスト⑤伝統工芸と室礼 課題B提出	課題の完成に向け必要な情報を調べまとめる	90分
第15回	課題B:マテリアルボードのプレゼン発表	提案ボードの仕上げや必要な資料の作成・発表準備をしておく	120分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、課題作成のための事前準備や制作、レポートの作成などである。

成績評価の方法・基準	
定期試験は、実施しない。	その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業の理解度を問う小テスト	50% 課題提出・プレゼンテーション 50%
課題に対してのフィードバック	
課題・レポートは添削・評価の上希望があれば返却する。 小テストは採点の上希望があれば返却する。	
教科書・参考書	
テキストは使用しない 必要に応じてプリントを配布する	